

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 12
発行日 平成21年6月11日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数(平成21年5月末日現在)
哺乳類:25種188点
鳥類:28種148点
爬虫類:10種 33点

シマウマの削蹄(さくてい)を実施しました!

4月21日にシマウマのミドリ(♀)、5月19日にアース(♂)の削蹄(さくてい)を実施しました。

削蹄とは蹄(ひづめ)を削ることで、人間で言えば“つめ切り”にあたります。ウマは人間と違い蹄で体重を支えているため、蹄が伸びすぎると歩きづらくなり、ケガをしてしまう危険性があります。さらに、蹄の病気にもかかりやすくなります。

野生のウマは運動量が多く蹄が自然に摩滅しますが、飼育されているウマは運動スペースが限られるため、個体により定期的な削蹄が必要とされます。



鎮静剤の効果
でぼんやりして
いるアース。

アースが大人し
くしている間に
削蹄が行われ
ました。



★4月から園長になりました★



梶 一成 園長

動物は子供のころから好きで、昆虫や野鳥を「捕まえる・飼う→逃げられる・死んじゃう」の繰り返しでした。小学生のときに家族で上野動物園に行った時、漠然と「動物園の飼育係になりたい!!」と思いつきました。動物のことを特に仕事にしてみたいと思うようになってからは、獣医師資格の取得を目指しました。何とか大学に合格し、国家試験も合格しましたが、その後20数年間ペーパー獣医として公害・環境行政一筋にやってきました。その後、念願の動物園の飼育の仕事に就くことができ、4月から園長として着任することになりました。

動物園の主役はもちろん動物たちです。この動物たちの生き活きとした元気な姿を来園者に見ていただくのが動物園の大きな役割です。そこでこれからは、動物たちだけでなく、いつも動物たちをわが子・わが家族のように面倒を見てくれて、健康で元気な動物の生活を守っている飼育職員や獣医の活躍も、皆さんにお伝えしていきたいと考えています。

★ピックアップ動物★



同じで大人しいですが、やや活動的で気ままな一面があります。人にべたべた触られるのを嫌がりますが、やきもちやきでもあり、飼育員が「ドン」の世話をしていると、「あたしにも！」と言わんばかりに寄ってきます。ブラッシングされるのが好きなようです。
来園された際には、「癒し系」の彼らにぜひ会ってみてください。

ロバ

分類: 哺乳綱 奇蹄目 ウマ科 ウマ属 ロバ亜属

ロバは、6000年くらい前に家畜化されたと考えられています。非常に厳しい条件のもとでも粗食に耐えて良く働くことができるので、現在でも世界の広い地域で、荷物の運搬や農業に大切な労働力として役立っています。

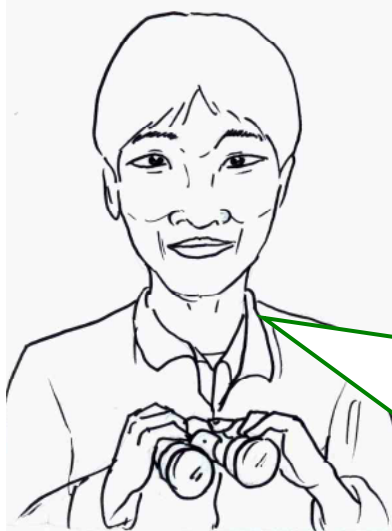
左の写真は♂の「ドン」です。1996年2月28日に来園しました。正確な年齢は分かりませんが、15歳前後になります。温厚なのんびりとした性格で、飼育員が蹄の手入れをしている間も、大人しくしています。

右下の写真は♀の「かぐや」です。平成19年6月18日、千葉市動物公園からお嫁入りしました。誕生日は2002年12月11日です。性格は「ドン」と



★ピックアップ職員★

今回は
上原 健 さん
です！



4月より動物公園に配属になりました。保健所、食品衛生検査所を経て念願の飼育員になることができました。レムール舎の担当をしています。先輩職員の知識・技術を見習い、早く一人前になれるよう頑張ります。



★動物たちの主な移動(平成21年3月1日～平成21年5月31日)★

コモンマーモセット(性別?: 死亡)、フサホロホロチョウ(性別?: 死亡)、パラワンコクジャク(性別?×3: 繁殖)、マーコール(♂×1、♀×2: 繁殖)